

令和5年度「地域と学校の連携・協働体制構築事業」交付申請関係様式

●R5年度に本事業で重点的に取り組む課題に応じた目標等の設定様式

市町村名	課題の類型1	課題の類型2	課題の詳細	左記課題の解決のために本事業で取り組むこと	本事業で達成する目標(アウトカム)	目標の達成度を測る指標	現状の数値	単位	本年度の目標値	本年度の実績値	アウトカムの達成度に関する評価・分析(事業における成果、課題、改善点等)	目標等の公表先
王寺町	②学校と地域の課題	通学路等の地域安全・地域防災	義務教育学校開校に伴う通学路の変更により、児童の安全確保が課題	令和4年度、教育委員会が募集し、145名の見守りボランティアに登録いただき、子どもの登下校の見守り活動を実施。令和5年度では164名までに増えた。今後、コーディネーターを調整役として地域が主体となって持続可能な見守り活動を実施していく。	学校、地域、行政の役割分担を明確化することにより、行政の伴走支援の具体化や地域との協働が進み、教員の負担が軽減する。	見守りボランティアの参加者 目標値 200名に対する割合	82	%	90	82	4 ・2年目を迎え、見守りボランティアの確保に注力したことにより、前年度よりボランティアの登録人数が64名になった。今後も、各広報手段を使って増やしていく。	https://www.town.oji.nara.jp/kakuka/kyoikuiinkai/syogaigakusyu/oshirase/9758.html

●アウトカムの達成度に関する評価【自己評価】

当該年度におけるアウトカムの達成度（課題の解決・改善の進捗度）

- 5：本年度の目標値を大きく上回り、設定していた課題が解決した
- 4：本年度の目標値を上回り、課題の解決に向けて大きな成果が見られた
- 3：本年度の目標値を達成し、課題の改善が見られた
- 2：本年度の目標値を下回り、取組の工夫・改善が求められる
- 1：本年度の目標値を大きく下回り、取組の根本的な見直しが求められる